

大災害後のまちづくりで “大切にしたいこと”を みんなで考えました。

足立区都市復興シミュレーション 第2回を実施しました

〈対象地区〉



参加者が6グループに分かれて
「仮想まちあるき」を行い、まち
の資源や課題について話し合いま
した。

詳しくは裏面へ

4回の
ワークショップで
このまちの都市復興
を考えます

【出典：国土地理院ウェブサイト】

都市復興シミュレーション全4回の実施を通じて地域としての復興目標・復興方針を作成します。

第1回

6月29日(土)

都市復興シミュレ
ーション実施の意義と生
活再建について学ぶ



第2回

11月23日(土)

“仮想まちあるき”を
通じた地域の再確認
(課題・資源の整理)
を行う



第3回

1月19日(日)

復興目標・復興方
針・復興計画(案)
について考える



第4回

2月15日(土)

復興目標・方針(案)
をまとめる



復興目標・復興方針の作成

11/23 第2回 足立区都市復興 シミュレーション から見えてきたこと

■ このまちの特性や資源を確認し、復興まちづくりでどのように対応するか考えました

1. 本木関原地区の課題と改善策

【土地建物】

- 古い木造住宅や空家が多い。
- 建物が密集している。
- 建物が低く水害時避難できない。
- 燃えづらい建物を建てる。
- 建物を共同化し、スペースを作る。
- 3階以上の建物に建て替える。

【道路】

- 曲がった道が多い。
- 狭い道が多い。
- 一方通行の道が多い。
- 基盤の目のように道路を作る。
- 道幅を広げて歩道を作る。
- 無電柱化を行う。

【公園】

- 狭い公園が多い。
- 公園が近くにないところがある。
- 大きい公園を作る。
- バランスよく公園を配置する。

【各種施設】

- 避難所や備蓄品が足りない。
- 地区全体が浸水してしまう。
- 備蓄や避難所を増設する。
- 高規格堤防を整備し高台化する。

2. 本木関原地区で残したい特性や資源

【各種施設】

病院、警察署、商店街、銭湯、スーパー等一通り揃っている。

【公園】

近くに公園がある。

【本木・関原らしさを示すもの】

- ・ 商店街
- ・ 神社
- ・ 地域のお祭り
- ・ 愛恵記念館
- ・ 関原の森
- ・ 銭湯



▲ 特徴や課題を出し合いました。

■ 能登半島地震の被害から学ぶべきこと

東京都立大学 中林一樹 名誉教授による講義



地震被害からの復興中に豪雨による風水害に見舞われたのが能登半島の被害実態である。現実にはこのようなことが発生する可能性があるため、**複合災害**について検討しておくことが重要となる。

※複合災害とは…複数の災害（地震や水害等）が短期間に立て続けに発生することを言います。

【お問い合わせ】

足立区都市建設部都市建設課 國井・佐伯
TEL：03-3880-5280
メール：tosikeikaku@city.adachi.tokyo.jp

